



アベノミクスは破綻した

執行委員長 山元一英

安倍首相は、消費税10%引き上げの実施日を、2015年10月から2017年4月に延期したことに對し、国民の審判を受けるとし衆議院の解散総選挙に打って出ました。そして、今度の選挙は「アベノミクスの経済政策を継続するのか、否か？」の国民の審判を問うものだと言っています。

今回の総選挙が、自民党・安倍政権の集団的自衛権行使の閣議決定や、特定秘密保護法の施行への国民の反発や支持率の低下を見越して、衆議院での過半数維持のため早々と解散に踏み切ったと推測されているが、あながち嘘ともいえないだろう。ならば、アベノミクスの評価できっちりとけりをつけなければならない。

アベノミクスは、デフレ経済からの脱却、インフレ政策への転換である。日銀はこれまで50兆円の国債を買い入れたが、今年10

月30日、枠を拡大し年間80兆円としました。これだけの莫大な金を市場に放出したのに、景気の回復は望めません。四半三期（7月～9月）の国内総生産（GDP）は、プラスどころかマイナス1.6%と予想はるかに下回りました。ばらまいた金は、一体どこに行ったのか。株価が引き上がり、富裕層や大企業はもうけを増やし、土地やセカンドライフが話題となっています。確かに、円安が進行し、輸入食品や原材料のインフレが進行しました。その結果、中小企業や労働者の生活は厳しくなりました。

また、アベノミクスは成長戦略を宣伝し、企業の競争力強化を名目に法人税を20%まで引き下げることを決定しました。それに比べ、労働者の方はどうでしょう？ 2年前に比して、雇用は123万人増加、有効求人倍率は1.09

倍と高水準となり、今春闘で2%以上賃金がアップしたと宣伝されているが、雇用の増加は非正規労働者であり、正社員は22万人減少しています。賃上げは実施されたが、9月の実質賃金は前年比マイナス3%で、15か月間マイナスが続いています。消費税が5%から8%に上がり、社会保障費の負担増、輸入製品の価格上昇等により、勤労人民の生活は苦しくなっているのです。富めるものと貧しいものの格差の拡大、正規と非正規の格差の拡大と労働者全体の貧困化が進行しています。

アベノミクスは、勤労人民をいっそう貧困化させました。今こそ、安倍自公政権にノーを突き付けなければなりません。

社民党を中心に、支部の推薦する候補者の勝利を期して、衆議院選挙に勝利しよう！

陸送部門閉鎖を許さない！

副委員長 樋口万浩

大阪支部と那須商会は、この間、以下のような議題で団体交渉を重ねてきました。

すなわち、会社の事故処理の稚拙さ、長時間労働による過労死、



パワハラ(暴力行為)による“うつ”と長期休業、アルコール検査で高濃度(飲酒運転状態)の数値が出たにもかかわらず乗務させたこと、固縛の甘さ(固縛なし?)による積載車両全損、その後、同じドライバーによる「固縛なし」に対する処分・指導のあり方などです。

しかし、会社側の組合差別によって、全港湾には不当に重い処分、

別の組合には、見て見ぬふりをするなどが続き、組合旗を掲げて抗議したところ、一役員の判断で一方向的に撤去されたため、事態はさらに紛糾しました。

「会社再建で合意」 にもかかわらず

数回にわたる団交により8月25日、過去のことは双方、不問にする 会社再建に向け労使が協力することが合意されました。

にもかかわらず会社は、こうした合意や組合との事前協議約款を踏みにじって、9月15日付文書で「12月末をもって積載事業部門から撤退する」と、一方向的に通告してきました。

会社は、「8月25日合意」の裏で、密かに事業撤退計画を進めるという、悪質な裏切り行為を働い

いたのである。しかも、各荷主には密かに事業撤退を通知するなど、着々と撤退の準備を進めていたのである。



支援の要請をする日高分会長

われわれは会社のこのような卑劣な策動を許すことはできないが、団交では冷静に臨み、会社に撤退の理由や経緯を質し、しかも、会社がどうしても必要とするならば、全港湾としても協力を惜しまないと“大人の対応”を行い、会社に案を提出させましたが、会社は、“事業撤退”という基本方針は変更しようとしません。

各メーカーへの要請へ

支部は11月11日よりJR北伊丹駅東側、ダイハツ駐車場にテントを張り、座り込み抗議行動を行っています。

現在トップ交渉や各メーカーへの要請を行っている状況です。

組合員の皆様には、勝利への行動をよろしく願います。



訪韓報告

連帯！団結！闘争！

執行委員 陣内恒治

11月8日から14日まで、日韓民主連帯代表の中村猛さんを先頭に、大阪支部からはユニオンおおさか委員長の下藤さん、全日建連帯、シェル、港合同南労会支部など全8名が、ソウルで神戸支部5名と合流して、スタートした。

今年の労働者大会は「44周年全泰壹烈士精神継承！2014全国労働者大会」として開催された。スローガンは「生きている者で立ち上がろう」だ。

8日の大会前夜祭はヨイド公園に舞台を作り、歌や踊りなど若い世代を中心に、約3千人が集った。



9日午前中は各地で集会が行なわれ、私たちは伝統建築物と最先端の現代複合文化施設が融合した「東大門デザインプラザ(DDP)」横での集会に参加した。そして、清溪川(チョンゲチョン)沿いから大学路(テハンノ)へ、3万人を超える大デモ行進！

あっという間に4車線を封鎖

全国労働者大会の本大会は大学路で車道を2車線封鎖し、すでに舞台も設置していた。警察の許可

を得ているとはいうものの、日本ではあり得ないことで驚いた。デモ隊が到着すると2車線の道路はいっぱいになり、反対側2車線には車が通っているにもかかわらず、車の切れ目を狙い、人がいきなり座り込みを始め、車が通れなくなった。車はクラクションを鳴らすが、時すでに遅しで、結局、4車線すべてを封鎖した。市バスやタクシーなどはバックして迂回した。警察もいたが、慣れているのか問題にせず、粛々と集会は進行した。



私は、日本でこのような集会がなぜできないのかと思った。過去に労働者大会に参加した日本の仲間たちには、日本での集会が消極的に見えてしまうことだろう。

3万人もの労働者が結集した。政治を変えようと団結し、組合を拡大し仲間を助け合おうとする精神。セウォル号犠牲者を無駄にしないように「生命と労働の尊厳、安全」という旗じるしを新しく立てて闘争を進めていた。

日本でも、孤立感におそわれることもあるが、労働者は決して一人ではない。仲間がいる。「連帯・団結・闘争」の3つの精神を忘れてはいけないと肝に銘じた。

労働者大会が終わり、バスで約

4時間かけて全州へ移動した。

セウォル号事故と沖縄問題

10日はセウォル号事故糾弾・真の解決を掲げて、テント闘争をしている現地を訪問し、闘いの現状などを学んだ。

真相究明に向けた「特別法」など、事故に関する3法案が閣議で議決されたが、彼らは、この程度の法律で真相が解明されるとは期待していない。犠牲者の家族・友人や労働者が、真実を追究することが必要である。最後に、日本の「千の風になって」を、皆で、歌った。皆、涙を抑えることができなかった。



午後からは鎮安(チナン)に移動。今年の訪日団員だった建設労組チナン支部パンノテ委員長が、私たちを、高麗人参の天ぷらなど珍味で、もてなししてくれた。

民主労総本部へ帰り、懇談会を開催した。テーマは「セウォル号事故と沖縄問題」で、民主労総が製作した映像を観た後、今後の運動について議論した。私は、沖縄・辺野古の状況と、今後、基地建設をどのように阻止するのかなどについて、問題提起し、議論した。

韓国から、セウォル号事故と沖縄問題について日韓でスローガンを作成することが提案され、この問題について連帯した闘いを続けることを確認した。

青年部 だより

活動の中にも「楽しい」を!

青年部副部長 森 隼人

11月14日(金)、第29回大阪支部青年部定期総会が開催され、9分会・14名の有志により運動方針と役員体制が決定されました。

担当執行委員には、前年度と同じく、小林勝彦さん(大阪機船)、田村吉雄さん(大阪埠頭)です。

今期は長きに渡って青年部活動の第一線で運動を支えてきた元部長の森下 大さん(大正埠頭)・山本浩貴さん(大阪機船)が一線を退きました。



世代交代が行われる中で、新役員も加わり“新体制”とも呼べる形になったのではないかと思います。

新年度の運動方針として、「反戦・反核・平和と民主主義を守る闘い」、「青年労働者の組織強化と交流」、「教宣活動の強化」、「国際連帯の取り組み」が提案され、全会一位で採択されました。

青年層が「出て来やすい環境・雰囲気作り」にも取り組み、横の繋がりを深めた「楽しい」青年部を作っていく事を決意し、松下泰士青年部長の元気あふれる団結ガンバロー!をもって閉会しました。

青年部活動は支部執行部や各分会の組合員のご支援・ご協力がなければ発展しません。

各分会員皆様のお力添えを、今後ともよろしくお願いたします。

新年度青年部役員体制

部 長:	松 下 泰 士(大 正 埠 頭)
副 部 長:	森 隼 人(サンユーサービス)
事 務 局 長:	山 本 武 司(第 一 商 事)
事 務 局 次 長:	附 野 雅 一(加 藤 運 輸)
運 営 委 員:	濱 崎 耐 士(大 正 埠 頭)
"	:大 津 正 義(サンユーサービス)
"	:川 又 栄 治(此 花 荷 役)
"	:近 藤 成 真(朽 木 協 鐵)
"	:名 越 勇 偉(朽 木 協 鐵)
"	:増 田 峻 介(朽 木 協 鐵)
"	:山 下 祭 典(阪 南 港 運)
"	:横 山 貴 安 基(ス ミ サ ク)
"	:玉 城 創 一(大 森)
会 計:	堀 江 真 貴(第 一 商 事)

海の子餅つきに集まろう!

12月7日(日)、海の子学園入舟寮園庭で、恒例の、第29回海の子学園もちつき大会が開催されます。

海の子学園と全港湾大阪支部との「年末恒例もちつき大会」の歴史は長く、始まって以降に生まれた組合員もいるほどです。

メインの餅つきでは、小さな園児から大人たちまでが、約60キ口のお餅をつきます。後半はサンタ

に扮した組合員からのプレゼント



もあります。

多数の参加で盛り上げたいと思いますので、青年部員のみならず、組合員の皆さんの積極的な参加をお待ちします。

つきたてのお餅はメチャクチャ美味しいです!うどん・ぜんざい・おでんもあります。

日 時 12月7日午前9時

場 所 海の子学園入舟寮

付近は駐車できませんので、クルマでお越しの方は支部に駐車を!

(青年部長 松下泰士)